

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズルームちょこれいと		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の生活を第一に考え、できる限りの送迎業務をお手伝いし継続していきます。	季節の行事や文化を大切にして、製作や活動に取り入れていきます。	利用児一人ひとりの特性を活かした、安全で充実した環境を提供していきます。
2	プログラムの重要性を理解しつつ、遊びや運動を通してルールや社会性をこれからも子供たちに伝えていきたい。	活動や製作では、「やらせる」のではなく「やる気にさせる」声掛けを意識しています。	天候や気候が良い日は積極的に外遊びや地域の公園を利用し、今以上の充実や活動の幅を広げていきたい。
3	子供たちがのびのびと過ごせるように施設内の広さを確保しつつ、屋外では人工芝のスペースを広く設けている。	1日の流れをホワイトボードに書いて児童が次の行動に動きやすくしています。	児童によっては個人の1日スケジュールを作成し、スケジュールに合わせた流れで次の行動が明確にわかるようにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域での交流や活動に参加する機会を、検討していく必要があります。	利用児童の障害特性を職員が理解し、新たな気づきがあった場合には職員間で共有していきます。	SNSやLINEを活用した連絡方法も検討していきたい。
2	職員からの分析結果で、マニュアルの新たな整備の必要性を感じた。	長期休み時送迎時間が一部の保護者様の提示された時間に行けなくなり、時間を変更していただいていること大変申し訳なく思っております。	手厚い支援が出来るように今以上の研修や情報の共有に務める。
3	保護者様から「SNSやLINE等を活用し、連絡や活動内容の周知を検討してもらいたい」とのご意見をいただいた。	HPや連絡帳で活動の内容や写真を掲示していますが、すべての保護者様に伝わるには不十分と感じた。	